歴史的・文化的価値の保存・活用を踏まえたバリアフリー内容の検討について　（1/3）

**１．既存計画の確認**

【既存計画】　**■日本庭園福祉整備事業調査(H9)**

**■日本庭園改修基本計画(H27)／基本設計(H28)**

※上記既存計画の基本的方針

**移動円滑性を重視したバリアフリー化**

階段・段差・勾配等の解消　→　**スロープ化・段差改修が前提**

（検討例）

イメージ

イメージ

現代地区斜面地へのスロープ検討　　　　　　　　　　　　　　　　　　　石橋の段差解消

**※景観や既存施設への影響が大きい検討事例有り**

**２．これまでのバリアフリー化対策実施状況**

建築物及び周辺、施設改修に併せバリアフリー化を実施



改修前

■中央休憩所　　　　　　　　　　■千里庵　　　　　　　　　　　　　　■トイレ 　　■石縁石・AS舗装

→スロープ設置　　　　　 　　　　 →ｽﾛｰﾌﾟ設置・砂利保護ﾊﾟﾈﾙ 　→多目的トイレ化



改修後

■現代地区階段　　　　　　　　　　■花しょうぶ田八つ橋　 　　　　　■案内・誘導サイン 　　　　　　石縁石撤去

→手摺設置　　　　　　　　　　　　　→交差スペースの確保　　 →設置・多言語化　　 　　 →ﾍﾞﾝﾁｴﾘｱ改修に併せ段差改修

（ベンチ撤去に伴う植樹エリアの拡大）

**３．課題及び目的**

50年経過を契機とした検証(R2)　➡　「登録記念物」への登録に向けて進めることが決定

**歴史的・文化的価値の保存・活用**

**【課題】　ハード改修によるバリアフリー化における、日本庭園の景観及び文化的価値への影響が懸念**

**【目的】　バリアフリー内容の再検討が必要**

資料4ー3

**4．検討のフロー**

**第１回緑整備部会にて確認**

**・既存バリアフリー計画の把握**

**・現地調査（実施済み箇所/追加箇所）**

**（１）現況の把握**

**・歴史的・文化的価値の保存・活用の視点**

**（２）バリアフリー化における基本的視点の設定**

**・基本的視点を踏まえた確認**

**（３）バリアフリー化検討箇所の抽出の考え方**

**第２回緑整備部会にて確認**

**（４）バリアフリー化検討箇所の抽出結果**

ｃ

**・景観に配慮した工法の検討**

**・ソフトによる対応の検討　など**

ｃ

**（５）バリアフリー化対応策の検討**

**５．検討(１)　現況の把握**

・日本庭園改修基本計画(H27)においてあげられているバリアフリー課題箇所をベースに現地調査を行う。



**＜除外＞**

・これまでのバリアフリー化箇所は除外する。　　例）トイレの多目的化、石縁石段差改修など

・施設の劣化による課題箇所は、修繕により解消されるものと考え除外する。例）石張舗装の破損・不陸箇所など

**＜追加＞**

・既存計画にて抽出されていなかった、階段等の先にある「砂利敷き」「段差」「茶庭」についても、課題箇所として追加する。

歴史的・文化的価値の保存・活用を踏まえたバリアフリー内容の検討について　（2/3）

**・日本庭園内のバリアフリー課題箇所の現地調査結果　⇒　「階段」：9箇所、　「勾配」：6箇所、　「砂利」：14箇所、　「段差」：18箇所、　「茶庭」：１箇所、　「東門」：１箇所**

************

■砂利-1　　　　　　　　　　　　　 　　　　　　■段差-1、砂利-2　　　　　　　　　 　　　　　■段差-9　　　　 　　　　 　　　　　　　　　　■勾配-4　　　 　　　　　　　　　　　　　　　　■階段-7　　　　 　　■段差-17



■砂利-3、段差-3　　　　　　　　 　　　　■茶庭　　　　　 　　　　　　　　　　　　　　　　■階段-3　　　　　 　　　　　　　　　　　　　　■砂利-9 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　■階段-8 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　■階段-９



図1　課題点抽出箇所



■階段-2　　　　　　　　　　　　　 　　　　　　■砂利-4，段差-4 　　　　　　　　 　　　　■砂利-7 　　　　　　　　　　　　 　　　　　　■階段-6　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　■段差-12 　　　　　　　　　　　　　　　　　　■東門

歴史的・文化的価値の保存・活用を踏まえたバリアフリー内容の検討について　（3/3）

**６．検討(２)　バリアフリー化における基本的視点の設定**

【歴史的・文化的価値の保存・活用】の観点より、以下基本的視点を設定し、課題箇所毎に確認を行う。

**基本的視点：ハード改修のバリアフリー化により万博日本庭園の本質的価値が損なわれないか**

**⇔「本質的価値を構成する要素の抽出」作業とのリンク**

**確認方法：バリアとなる施設そのものが【主要構成要素】及び【関連構成要素】に該当しないか**

**７．検討(３)　バリアフリー化検討箇所の抽出の考え方**

**構成要素の抽出作業**

・基本的視点を踏まえ、以下のとおり、課題箇所毎に、【主要構成要素】及び【関連構成要素】への該当を確認。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 課題個所 | 備考 | 本質的価値を担う要素への該当 |
| 【主要構成要素】 | 【関連構成要素】 |
| **・・・・・** | **確認作業イメージ（抜粋）** |  |  |
| **階段-7** | 10段以上、改修された階段 | - | - |
| **階段-8** | 10段以上、手摺設置済み、迂回路あり | - | 石階段 |
| **階段-9** | 10段以上、手摺設置済み、迂回路あり | 石階段(主要) | - |
| **勾配-1** | 8%以上、迂回路あり | 深山 | アスファルト舗装 |
| **勾配-2** | 8%以上 | 緩やかな山 | コンクリート舗装他 |
| **・・・・・** |  |  |  |
| **砂利-1** | - | 砂利敷き | - |
| **砂利-2** | 段差-1の先の課題箇所 | 砂利敷き | - |
| **砂利-3** | - | 砂利敷き | - |
| **・・・・・・** |  |  |  |
| **砂利-8** | - | 砂利敷き | - |
| **砂利-9** | 改修された砂利敷き(平板舗装等含)勾配-4,5の先の課題箇所 | - | - |
| **・・・・・** |  |  |  |
| **段差-1** | 野面石段差15cm以上 | 岩組 | - |
| **段差-2** | 玉石縁石段差15㎝内外 | -**対応方針①****該当あり** | 石縁石**上記項目のみ該当****対応方針②** |

設計当時の

スケッチ

による確認

**バリアフリー化検討箇所の抽出の考え方（案）**

関連

構成要素

**①　バリアそのものが【主要構成要素】である場合　　　　　　　　　　→対応方針①： 原則、ハード改修によるバリアフリー化の検討対象から除外**

 **※砂利敷きについては、砂利の厚み調整や砂利保護材などの対応を検討**

**②　バリアそのものが【関連構成要素】である場合**　 　　　　　 　**→対応方針②： 要素の保存を原則とし、景観に配慮し、ハード改修によるバリアフリー化を検討**

 **例：縁石の高さ調整など**

**③　上記①②に該当しない場合** 　　　　 **→対応方針③： 景観に配慮し、ハード改修によるバリアフリー化を検討**

**いずれも該当がない場合：対応方針③**

リンク

**該当がない場合：対応方針③**